



小学生、中学生に読んでもらいたい記事をおせています。読めない字があったら、おうちの人に教えてもらってね。

わたしたちの身近な文化財

「大正十二年震災関係書類」(東京府北多摩郡小平村)

令和5年(2023)は、関東大震災から100年という年にあたります。大正12年(1923)9月1日に発生した関東大震災は、約10万5000人の犠牲者を出した大災害です。その当時はまだ小平村と呼ばれていた現在の小平市では、半壊1棟、負傷者3名という被害が記録されています。人口が6038人だったということを考えると、被害は比較的小さかったと言えるのかもしれませんが、この時に小平村が作成した「大正十二年震災関係書類」(写真1)という公文書が残っています。この文書は関東大震災の発生時に、被害にあった人を助けるために、小平村がどのような対策を行っていたか記録したものです。



〈写真1 震災関係書類〉

現在でも大きな災害が起きると寄付を集めることがあります。関東大震災でも寄付を集めています。地震発生後、およそ3週間もたないうちに村の8割にあたる家から、「古衣、定袋、履物類」を中心に1400点以上が寄付されています。関東大震災は火災による被害が大きかったことが知られていますが、まさに着の身着のまま逃げた被災者にとって、これらの衣類はすぐに必要になるものでした。



〈写真2 震災関係書類内容(一部加工)〉

また、9月12日には、275名の都心からの避難民を受け入れています。避難してきた人は全て村人の親戚や知り合いだったことまで記録されています。これらの人々にはお米や漬物・缶詰などが配られましたが、10月中には配布を終えています(写真2)。北多摩郡役所から小平村に、半搗米を奨励するという文書が出されています。収穫したお米を食べやすくするために表面の糠を削り取る作業を半分にする事で、エネルギーを節約し、少しでも食べられるお米の量を確保しようという目的があったようです。

この時期には世界的に見ても、大きな社会変化が起きています。ヨーロッパでは19世紀の終わりから、産業革命による労働者の急増にともなって生じた都市の生活環境の悪化をよって、大都市の外に環境の良い住宅地を開発するという考え方が生まれ、特に第一次世界大戦後に活発になりました。日本でも関東大震災の前後に同じような考え方が広まり、東京の中心部にあった大学がよりよい教育環境を求めて郊外への移転を始めました。その一つが女子英学塾(現在の津田塾大学)で、1922年には移転用地を小平村に確保しました。

関東大震災以降その動きが活発になり、箱根土地株式会社(のちの西武グループ)による小平村内での「国分寺大学都市」(のちの「小平学園」)の開発・分譲へと繋がっていきます。この時の開発地が現在の学園東町・学園西町の基となりました。この開発は、現在の西武多摩湖線と一橋大学小平国際キャンパスを重要なものとしており(写真3)、その二つを結ぶ商科大学前という駅もありました。駅はなくなりましたが、その跡は一つ橋通東はじの三角ロータリーとして今も残っています。



〈写真3 一橋大学と西武多摩湖線 出典:国土地理院地図・空中写真閲覧サービス(1947年撮影を一部加工)〉

小平のまちの様子は関東大震災をきっかけに大きく変化していきました。

お詫びと訂正: 前号に記載した「一石は約120キログラム」は「一石は約150キログラム」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

第44回 ふるさとの新聞元旦号展

第44回ふるさとの新聞元旦号展を開催します。全国各地の1月1日発行の主要地方新聞の展示にあわせ、地方出版の郷土色豊かな図書も展示します。今年度もふるさとの懐かしいイベントや風物詩など、新聞ならではの郷愁を是非ともご覧ください。 ※新聞の展示は、各新聞社から届き次第、順次行います。

日程

- 令和6年1月6日(土)~1月11日(木) 中央図書館
- 令和6年1月13日(土)~1月17日(水) 上宿図書館
- 令和6年1月20日(土)~1月25日(木) 大沼図書館
- 令和6年1月27日(土)~2月1日(木) 小川西町図書館

問合せ 中央図書館 ☎042(345)1246

第49回 少年少女マラソン大会を開催しました

11月19日(日)に、中央公園競技場および外周コースで、小学校3年生から6年生の各学年、男女別にレースが行われました。

当日は、445人の参加者による熱戦が繰り広げられました。

	3年生	4年生	5年生	6年生
男子	1位 中村 和真(八小)	風間 伊織(二小)	中山 瑛介(サレジオ小)	鈴木 碧斗(八小)
	2位 工藤 結生(六小)	黒田 光一(東京創価小)	高島 惇斗(三小)	武川 雄太郎(学園東小)
	3位 澤登 隆(花小金井小)	戸部 由志(一小)	岸 陽向(二小)	太田 蓮(学園東小)
女子	1位 小池 紗蘭(一小)	武川 藍子(学園東小)	美濃輪 奈々(六小)	田島 帆夏(三小)
	2位 高橋 結月(六小)	村井 愛美(花小金井小)	高巢 小春(七小)	倉科 幸佳(十五小)
	3位 石本 志帆(二小)	渡辺 結愛(鈴木小)	石川 柚杏(六小)	高山 ヤエ(八小)

※3年生・4年生は1,500メートル、5年生・6年生は2,100メートルで競われました。

※上位入賞者の成績は、小平市体育協会ホームページに掲載しています。

問合せ (一社)小平市体育協会 ☎042(349)1350
文化スポーツ課 ☎042(346)9612



〈小平市体育協会〉
ホームページ



今年も「なかまちテラス」にイルミネーションが点灯しました



職業能力開発総合大学校の協力のもと、今年もなかまちテラスにイルミネーションが点灯しました。今年の文字は「翔」になりました。コロナ禍を乗り越え、飛翔していこうという想いが込められています。来年2月末頃まで、夕方5時から夜10時まで点灯しています。(第3木曜日と年末年始を除く)



小平市 平櫛田中彫刻美術館
KODAIRA HIRAKUSHI DENCHU ART MUSEUM

◆冬の展覧会◆

企画展 白の彫刻~石膏原型~

平櫛田中は木を彫る前に、粘土で作品を形作り、それを石膏で型取りしました。木彫の作品とは異なる石膏像に注目し、美術館が所蔵する平櫛田中の石膏像を紹介します。平櫛田中がどのように作品制作に取り組んだのか、そして、ノミや彫刻刀で形を刻んでいく方法とは違う造形技術も見ていきます。



と き 令和6年2月12日(月) まで

開館時間 午前10時から午後4時まで※なるべく、午後3時30分までに入館してください。
休館日 火曜日(祝日、または振替休日)に当たる場合は開館し、翌日休館)、12月27日~1月5日
観覧料 一般...300円、小・中学生...150円
※駐車場はございません。近くのコインパーキングをご利用ください。
問合せ 平櫛田中彫刻美術館 ☎042(341)0098